

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第9週の発生動向

□ 全数報告の感染症（9週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：A 型肝炎 1 例。
5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 3 例、梅毒 1 例、百日咳 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60 歳代	女	リンパ節結核	リンパ節腫大
		都城	100 歳代	女	肺結核	痰、発熱、呼吸困難
		延岡	80 歳代	女	肺結核	発熱、呼吸困難、食思不振
4類	A型肝炎	宮崎市	30 歳代	男	—	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝腫大、肝機能異常
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	延岡	80 歳代	男	—	肺炎
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	30 歳代	男	—	頭痛、発熱、痙攣、意識障害、項部硬直、髄膜炎
		都城	50 歳代	男	—	発熱、咳
		延岡	90 歳代	女	—	発熱、意識障害、髄膜炎
	梅毒	宮崎市	70 歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)、梅毒性バラ疹
	百日咳	宮崎市	10 歳代	男	—	持続する咳
		延岡	10 歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦
日向		20 歳代	男	—	持続する咳	

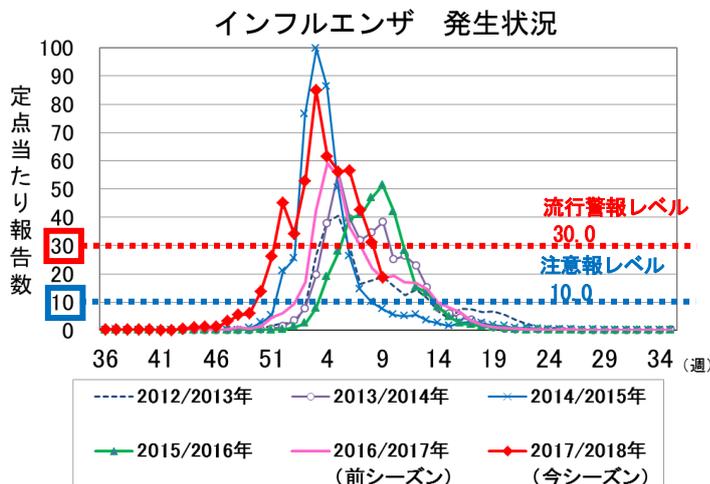
□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,703人(定点当たり39.1)で、前週比77%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

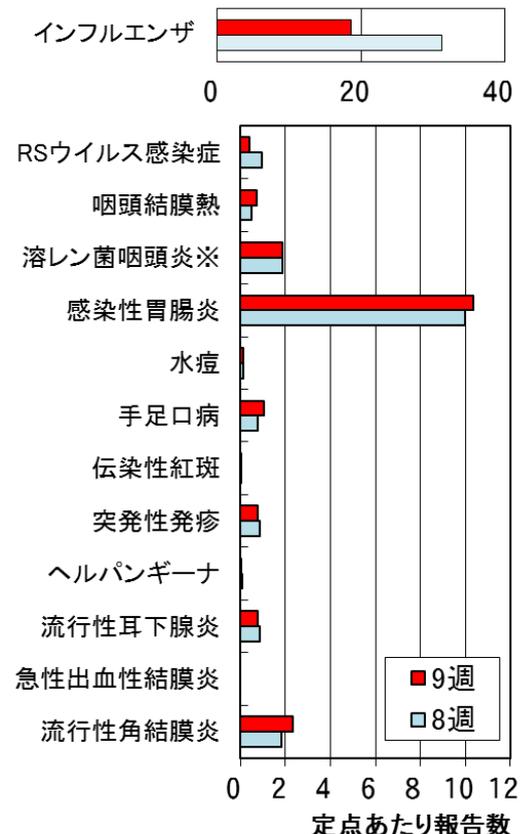
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は1,095人(18.6)で、前週比60%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(24.9)の約0.8倍である。小林(41.2)、都城(23.7)、日南(19.4)、延岡(19.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は10歳未満が全体の約半数を占めている。



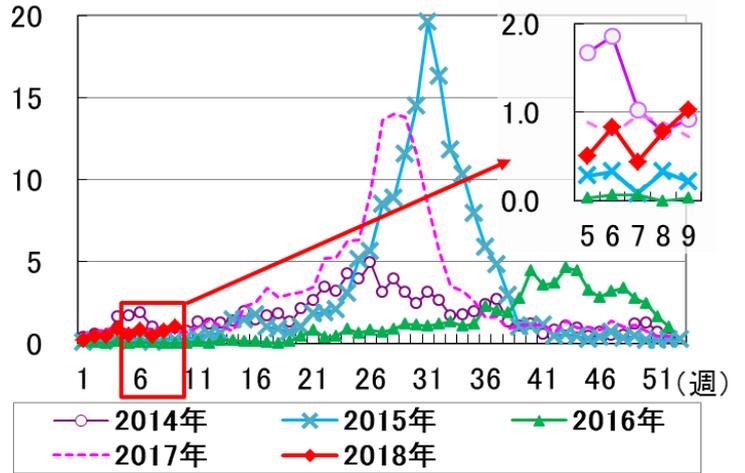
《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

手足口病 発生状況

定点あたり報告数



【手足口病】

報告数は37人(1.0)で、前週比132%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(0.39)の約2.6倍である。日南(3.0)、宮崎市(2.2)、高鍋(1.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~3歳が全体の約9割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :

報告数は15例で、日向(11例)、宮崎市(2例)、日南、高鍋(各1例)保健所からの報告であった。いずれも10歳未満である。なお、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(14.9)
都城	インフルエンザ(23.7)
延岡	インフルエンザ(19.1)
日南	インフルエンザ(19.4)、感染性胃腸炎(20.0)、流行性耳下腺炎(7.7)
小林	インフルエンザ(41.2)
高鍋	インフルエンザ(17.3)
高千穂	インフルエンザ(11.0)
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・インフルエンザ(10.0)

📊 全国 2018 年第 8 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 8 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	289 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	9 例		
4類感染症	E 型肝炎	4 例	A 型肝炎	13 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	14 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23 例	急性脳炎	6 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	16 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	50 例
	水痘 (入院例)	3 例	梅毒	69 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	百日咳	51 例	麻疹	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 86%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は流行性角結膜炎と感染性胃腸炎(ロタウイルス)で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

インフルエンザの報告数は 112,070 人(22.6)で前週比 76%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値*(21.1)の約 1.1 倍である。沖縄県(43.9)、高知県(32.3)、北海道(31.3)、宮崎県(31.2)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約半数を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第09週(02月26日～03月04日)

疾病名		第8週	第9週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1839	1095	239	237	134	97	206	104	22	41	15
	定点あたり	31.17	18.56	14.94	23.70	19.14	19.40	41.20	17.33	11.00	6.83	7.50
RSウイルス 感染症	報告数	34	15	6	3				2		4	
	定点あたり	0.94	0.42	0.60	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	17	26	9		2	3		9		1	2
	定点あたり	0.47	0.72	0.90	0.00	0.50	1.00	0.00	2.25	0.00	0.25	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	67	67	18	17	16	3		5		8	
	定点あたり	1.86	1.86	1.80	2.83	4.00	1.00	0.00	1.25	0.00	2.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	360	373	55	56	57	60	45	24	4	70	2
	定点あたり	10.00	10.36	5.50	9.33	14.25	20.00	15.00	6.00	4.00	17.50	2.00
水痘	報告数	4	5	2	1	1					1	
	定点あたり	0.11	0.14	0.20	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	28	37	22	2		9		4			
	定点あたり	0.78	1.03	2.20	0.33	0.00	3.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	31	27	10	1	3	5	2	2		2	2
	定点あたり	0.86	0.75	1.00	0.17	0.75	1.67	0.67	0.50	0.00	0.50	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	1						1			
	定点あたり	0.08	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	30	27			1	23		1		1	1
	定点あたり	0.83	0.75	0.00	0.00	0.25	7.67	0.00	0.25	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	14	14								
	定点あたり	1.83	2.33	4.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	14	15	2			1		1		11	
	定点あたり	2.00	2.14	2.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00		11.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～9週)

2類感染症	結核	33例(3)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	13例(1)	つつが虫病	1例
	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例(1)	急性脳炎	4例
5類感染症	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例(3)
	梅毒	1例(1)	播種性クリプトコックス症	1例	百日咳	13例(3)

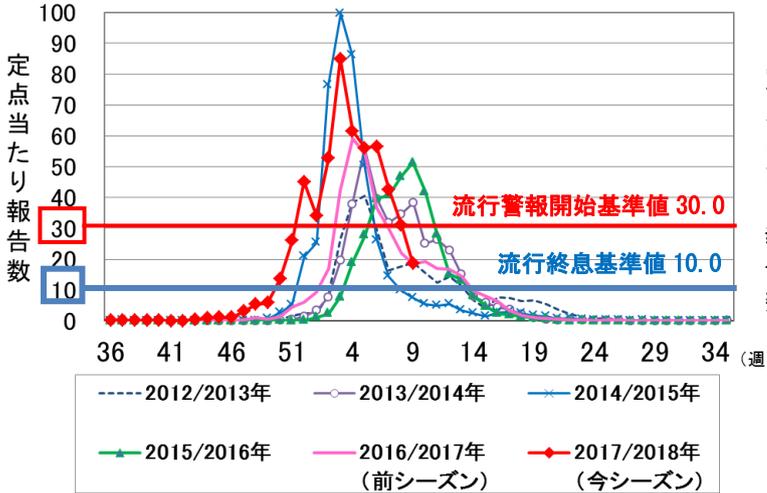
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第9週、全国第8週（再掲）》

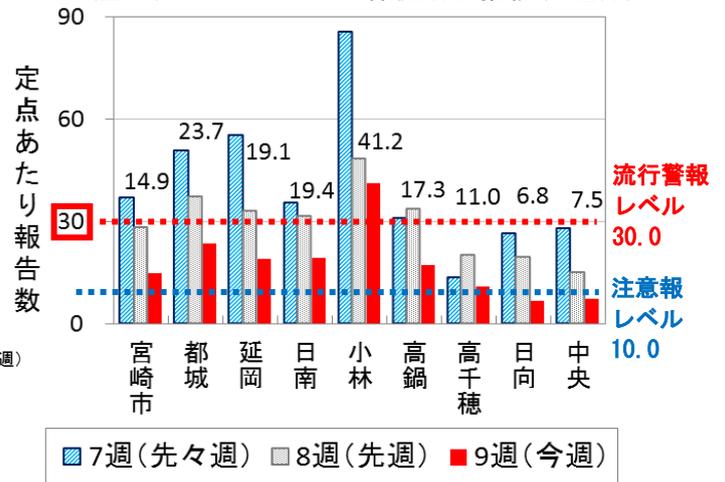
□ 県内第9週インフルエンザ発生動向

2018年2月26日～3月4日までの1週間で1,095人（18.6）の報告があった。前週の約0.6倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*（24.9）の約0.8倍である（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が28%、10-14歳が13%、15-19歳が5%、20-59歳が21%、60歳以上が13%を占めている（図3）。* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

（図1）インフルエンザ 発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移(3週分)

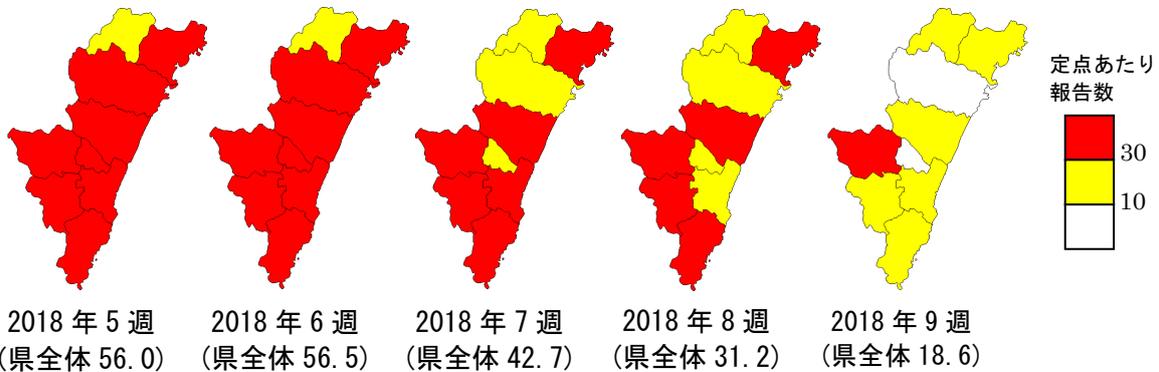


（図3）年齢群別割合の推移(2018年第5週～第9週)

週	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
5週 3,305人	19%	36%	21%	5%	14%	5%
6週 3,334人	20%	35%	21%	5%	14%	5%
7週 2,518人	19%	31%	19%	6%	17%	8%
8週 1,839人	20%	32%	16%	4%	19%	9%
9週 1,095人	20%	28%	13%	5%	21%	13%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 □ 10～14歳 □ 15～19歳 □ 20～59歳 □ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2018年第5週～第9週



□ 全国第8週インフルエンザ発生動向

2018年2月19日～2月25日までの1週間で112,070人（22.6）の報告があり、前週の約0.8倍と減少した。沖縄県(43.9)、高知県(32.3)、北海道(31.3)、宮崎県(31.2)からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の19%、5-9歳が28%、10-14歳が16%、15-19歳が5%、20-59歳が21%、60歳以上が11%である。